

高浜市が目指す新たな地域公共交通のイメージ

1 高浜市の概要（令和5年7月1日現在）

人口：49,210人（世帯数：21,305世帯）

面積：13.11km²、人口密度：3,754人/km²

交通の状況：●高浜市のほぼ中央を南北に名古屋鉄道三河線が運行しており、市内に計3か所の駅（吉浜駅、三河高浜駅、高浜港駅）が立地している。

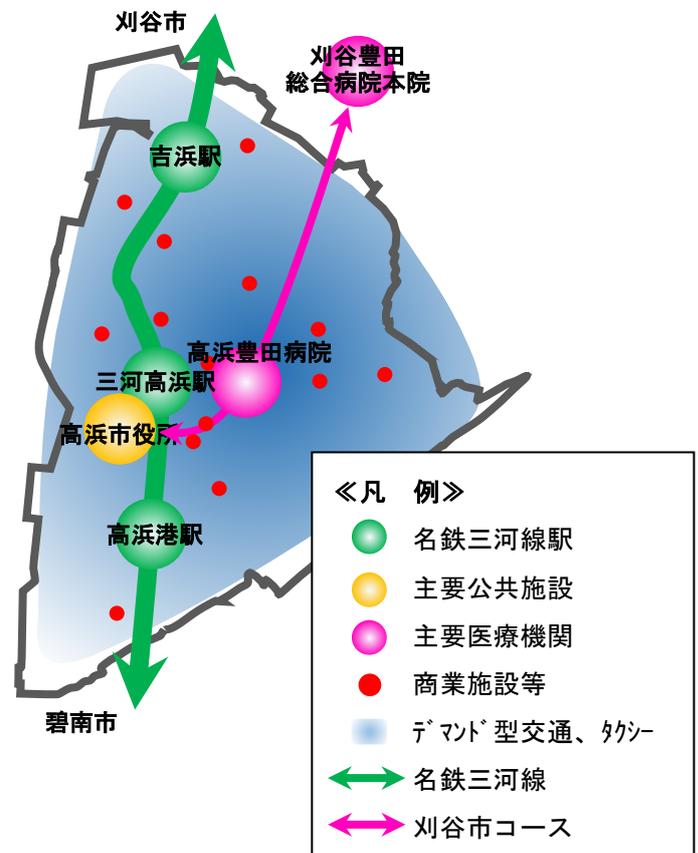
- コミュニティバス「いきいき号」が、市役所と刈谷市の刈谷豊田総合病院本院をむすぶ刈谷市コース、市内の4つの区域を循環する4コース（吉浜コース、翼コース、高取コース、港コース）で運行している。

- タクシー事業者が1事業者運行している。

2 高浜市が目指す地域公共交通のイメージ

(1) 高浜市の特性

- 東西4.2km、南北5.5km、面積は13.11km²とコンパクトなまちである。
- 市外への通勤と通学の要となる、名鉄三河線の3駅へは、市域の端からでも自転車で概ね15分圏内である。
- スーパー（5店舗）、コンビニエンスストア（25店舗）、薬局（29店舗）、病院・診療所（20施設）など日常生活で利用する施設は点在している。
- 市内での大量輸送を目的とした、運送形態は適していない。



(2) デマンド型交通導入後のイメージ

- 市外につながる通勤・通学の幹線として名古屋鉄道三河線が南北を運行
- 刈谷豊田総合病院本院（刈谷市）への足としてコミュニティバスが市役所から当該医院まで運行
- 市内全域の公共交通網をデマンド型交通とタクシーがカバー

・デマンド型交通は、市民の日常的な市内での移動ニーズに対応

・タクシーは、
 ドア・ツー・ドアのニーズ
 市外への広域的な移動のニーズ
 早朝、夜間、深夜時間帯のニーズ
 土曜日、日曜日のニーズ
 ） に対応